

神奈川県緊急財政対策を受けた県立の図書館の検討の方向性について

2013年2月1日

神奈川県教育委員会
委員長 具志堅幸司様

「神奈川県資料室研究会」は企業の資料室、知財部門、公共研究機関、大学図書館等が加盟する団体です。前身の「京浜地区資料室運営研究会」は1961年に発足し、以来50年以上活発に活動を続けてきました。会則で「本会は、企業および公共機関の資料室（図書館、図書室）の運営向上について連絡と研修等を行い、各資料室の充実と運営の活発化を図ることにより、企業及び公共機関等の進展に寄与し、あわせて神奈川県産業の振興に寄与することを目的とする。」と定めており、神奈川県立川崎図書館と密接に連携して活動しております。県立の図書館が民間企業の資料室と連携することで、科学技術系学術雑誌デポジット・ライブラリーを実現するなど、県単独や民間だけではできないことを実現してまいりました。当会は全国でも類を見ない資料室のネットワーク活動であると自負しております。

11月に「神奈川県は神奈川県立図書館、神奈川県立川崎図書館の機能集約、廃止等の検討を開始している」との報道に接し、たいへん衝撃を受けました。当会は創立当初から神奈川県立川崎図書館と密接に連携して活動してきたことに加えて、当会の会員機関は神奈川県立川崎図書館のヘビーユーザーでもあり、今回の検討は決して他人事ではありません。

当会では広く多くの方の意見を伺おうと、11月20日から22日までパシフィコ横浜で開催された「図書館総合展」の会場で、アンケート調査を行いました。250名を超える方々から貴重なご意見をいただきましたので、別添のようにとりまとめました。「貸出も閲覧もできないのでは、図書館とは言えない」「機能縮小と廃止は、学術・社会活動の将来に鑑みて大きな損失である」「専門書に精通した職員の方のレファレンスサービスを受けられることが重要」等、そのほとんどが方針に反対する熱い思いのこもった資料となりました。「検討の方向性を示したもので、決定ではない」とのことですので、これらの意見も考慮いただき、単純に「閲覧・貸出の廃止」ではなく、よりよい「県立の図書館のあり方」を検討いただきますよう、お願い申し上げます。

神奈川県資料室研究会

会長 平野達夫
副会長 藤村和男
副会長 末廣恒夫



No.	自由意見	所属	会員/会員外	在住・在勤
1	県立川崎図書館と県内企業との結びつきの強さは他県にはなかなかないものです。 神奈川県内の企業図書館にとって県川図書館と神資研の活動は非常に大事で、情報アクセスの大きな手段です。 また、社史コレクションのすばらしさも、職員の方々が熱心に収集してくださっているたまものです。その部分を大切にほしいです。	企業内資料・情報部門	会員	在住 在勤
2	新聞報道を聞いて大変おどろきました。小規模な市町村図書館なら話はわかりませんが、「県立」図書館の廃止とは…。確かに市町村図書館を「経由」して貸出・閲覧可能だとしても、実際目で見て探して手に取るという基本的な動作が失われることは事実です。時間的にも能率的にも非常に不便になります。利用者サービスあってこそその図書館を、ただの倉庫にするには、県立図書館はもったいないです。ぜひ、今後も活動を続けてほしいと思います。	企業内資料・情報部門	会員	在勤
3	産業立国の観点から神奈川県立図書館産業情報、神資研の機能をぜひ継続実施してください。	企業内資料・情報部門	現在は大学 会員	在住
4	神奈川県立の図書館人の怠慢を感じます。 '76年に時の長洲知事から県立図書館のコンセプトを明確化の宿題を出されたにも、かかわらず、サボってきたツケだと思います。 今回神奈川県新聞などで大きくとりあげられ、またないチャンスです。これまで川崎図書館や神資研の先輩たちが積み重ねてきた成果を堂々と主張し、県立図書館のあるべき姿を示していくことが大切です。	その他	会員	在住 在勤
5	機能集約もわからないではありませんが、川崎図書館は社史やものづくりといった特徴ある所蔵がたくさんあり、社会人の勉強スペースとして、とても役立っている図書館だと感じています。市町村経由の利用では、不便な点も多く、「ちょっとこれも読みたい、次あれも見たい」次々にでてくる好奇心が、途中でとぎれてしまいます。 できれば現状維持で、さらなる特色ある図書館として運営してほしいと感じます。	企業内資料・情報部門	会員	在住
6	川崎図書館の社史のコレクションは他の図書館の追随を許さない程の貴重なものだと思います。 もし、他の図書館に移管されたとしても今までの様に何年もつちかした保存と利用方法をひきつぐことはむずかしいと思います。 是非、両館の存続をお願いします。 又、川崎図書館はいろいろなイベントや神資研の活動など、ユニークな試みもなされており、科学技術の振興に役立っていると思います。 その点からも存続を希望します。	企業内資料・情報部門	会員	在住 在勤
7	県立川崎図書館所蔵資料は技術研究開発を行う上で非常に貴重なものであり、これらを今後目にふれることなく保有していく事は、資源にたよれず、ものづくりを推進していかなければならない日本にとって大きな損となります。 機能集約は仕方ないかもしれませんが、今後の運営については是非再検討していただきたいと思います。	企業内資料・情報部門	会員	在住
8	県立図書館の資料を市町村図書館で閲覧できるということは現在でもネットワークシステムで行っていることであり、果たして利便性が広がるといえるのでしょうか？ 閲覧機能をなくしてしまっただけの倉庫です。 図書館は単に本の貸借ばかりではなく、情報発信も行っています。図書館の機能をもっとよく考えて今後どうすべきか検討してほしいと思います。	公共図書館	会員	在住
9	反対します、信じられません。	未記入	会員	在住
10	川崎図書館の利用者として、資料閲覧ができなくなるのは反対致します。緊急財政対策の一環として機能集約は仕方ないことであると思いますが、現在有効に利用している蔵書の閲覧サービスまで廃止することには納得できません。図書館機能は単なる倉庫ではなく、知識の共有という機能を有することで、はじめて役割を果たすと言えるでしょう。 図書館とは何かという原点に立ちかえり、今一度検討すべきではないでしょうか。	企業内資料・情報部門	会員	在勤
11	県立図書館、県立川崎図書館とも、県内にとどまらず、全国的に優れたコレクションを有しており、閲覧、レファレンスを利用できる貴重なものです。 廃止等の処置を再度見直し、全国の利用者のためにも存続を希望します。 社史、科学技術コレクションは、日本の研究開発を後押しするために絶対的に必要です！	企業内資料・情報部門	会員	在住
12	仕事で川崎図書館を利用させていただいています。廃止報道に驚きました。借地権？の問題があるのは知っていたので移転されるのだらうとは思っていましたが廃止というのは正直ありえないことだと考えています。川崎図書館のコレクションは非常に価値のあるもので社史はもちろん会社技報も遠くから利用のためだけに来館するという話も聞いています。灰色文献に近いものですので市町村の図書館では収集できないと思います。また会社や機関も県立図書館なので安心して寄贈した資料はどうなるのでしょうか。	企業内資料・情報部門	会員	在勤
13	寂しく感じます。図書館の集約があるなら、出張所的な図書館が出来ると便利だと思います。例) 区役所などに場所を作るなど	企業内資料・情報部門	会員	在住

14	県立川崎図書館が収集してきた産業系図書は中小企業及びこれから起業する人のみならず、大企業にとっても大変貴重な資料です。特に電子ジャーナル化が進む昨今、企業内図書室の収納面積はどんどん削られています。万一場所が移動することがあっても収蔵資料の維持は継続して頂きたいと切に望みます。そして神資研という機関は国内でも希少な組織だと思います。廃止なんか絶対反対です。	企業内資料・情報部門		会員	在住	
15	実際に閲覧できなくなることは貴重な資料を所蔵している図書館として機能しなくなる。市町村図書館へ資料を貸出すると言っても限界がある。最新の情報を得るための雑誌をどうするのか。川崎の所蔵の社史の扱い、県立所蔵のかながわ資料の扱い、実際に手に取ることで資料が活かされるかと思います。	専門図書館		会員	在住	
16	・知事の誤認識を改める ・PR不足 ・市議会、県議会に参加意見しよう ・市議会議員、県議会議員へのコネクション ・教育委員会の論点を打破する 根拠を示そう→中小企業の成功事例は？ 「貸出件数」だけではない。	企業内資料・情報部門		会員	それ以外	
17	企業図書館(研究所)の担当者です。上記のニュースを拝見して驚きました。川崎図書館は ①企業で入手不可能な資料を多数所蔵している。結果常に閲覧が可能である ②約10年前に理工系の図書館に特化し、レファレンスサービスも充実している ③研究開発の発展に陰ながら寄与しており、ひいては企業活動が活発になり法人税の納税等にも貢献している 京浜工業地帯を背景として国内でも理工系に特化した図書館としての責務は重要だと思います。	企業内資料・情報部門		会員	未記入	
18	1. 県民の立場としては、税制上、県税が国の制度上、今後はっきりする組織(党の立場)上、どうなるかによってある程度、神奈川県にも示されることになると思われますので、両図書館(上記)だけで極力反対するのは難しいかと思えます(予想)。唯、許されるならば両館共存し神奈川県立、県立川崎共、夫々の特徴を明示して、現行のまま(一部変更を言われることもあると思えますが、現在のままでそれぞれが現在の特長を生かして存続させる考えを検討するのも一方法です。 2. 例えば神資研の立場、存在などはこれだけの歴史、業績、特徴などがある訳ですから、その中の大きな立場として、神資研の組織、存在などの発言力は大きいと思えます。 3. 私はたまたま、県の一委員として、ある委員会に加わりましてし、県の依頼による県主催の講師として頼まれたこともありますので、神資研の理事の方々も積極的にそういう立場を得られる必要もあると思えます。	その他		会員	在住	
19	新聞報道では読んだけど、確実な情報が分かりませんでした。もっと詳しい、はっきりした実態を知りたいと思います。 閲覧、貸出、更には購入資金の削減などきびしい情勢だと思います。当社でも、雑誌は電子情報化して、図書費も削減を検当しています。でも、そのために、研究分野が発展しないのではないかと心配しています。図書、雑誌をできるだけ残すことが必要です。	その他	無職	会員	在住	
20	県立川崎図書館は科学技術などに特化した全国でも珍しい図書館で、神奈川県で良かったと思っていたのに驚きです。 市町村を通して貸出をすればいいというようなものではなく、そこに一同に集めてあるのを利用できることや、専門書に精通した職員の方のレファレンスサービスを受けられることが重要です。 企業の状況も厳しく、図書室のような部門から費用や人員が削られていく中、川崎図書館のような存在は必要で、存続どころか発展を強く望みます。 ニュースを見て大変驚きました。	企業内資料・情報部門		会員	在住	在勤
21	廃止することは反対です。川崎図書館の所蔵は一般の公共図書館とは異なるものであり、特に社内に資料室を持つことが出来ない神奈川県内外の中小企業の方、一般利用者が困ると思えます。もし、それでも廃止せねばならない場合は既存の資料の活用、代替案を決定して頂きたいです。 ニュースを見て大変おどろきました。	企業内資料・情報部門		会員	在住	在勤
22	一般的な図書館と勘違いもはなはだしい。 川崎の特区構想の基本にたちかえてほしいです。	企業内資料・情報部門		会員	在住	在勤
23	川崎図書館は理工学情報の収集にユニークな図書館として公共図書館中非常に秀でた図書館と認識しています。 特に中小企業にとっては大学図書館ではなくては見ることができない資料などを閲覧できることのできるどころとなっていますのでぜひ継続してほしいと思えます。 企業では電子ジャーナル等で技術論文の入手に可能ですが一度企業を離れるとなかなか専門性の高い情報には敷居が高くなってしまいます。	企業内資料・情報部門		会員	在住	

24	社史、科学技術のコレクションを公共機関で収集、蓄積、情報提供をしていくことはとても大切なことだと思います これからも継続されることを強く望みます	企業内資料・情報部門		会員	在住	在勤
25	企業の予算が厳しい中、早く安く正確に対応して頂き、毎日のように複写依頼をさせて頂いています。 デポジットライブラリーの見学会にも参加し、古い資料の保存にはいろいろなご苦労があるとお聞きました。 しかし、利用している企業がたくさんあることを是非ご検討下さい。 よろしくお願い致します。	企業内資料・情報部門		会員	在住	在勤
26	有効に活用させていただいておりますので、廃止だけは避けていただきたい と思います。 ご配慮のほど、宜しく願ひ致します。	企業内資料・情報部門		会員	それ以外	
27	移管・廃止はとんでもないと思います 地道な活動はなかなか見えにくく、わかってもらいにくいと思います。しかし表 から見える研究活動を支えてきた重要な活動です。 これからも継続して頂けるよう応援しています。	その他	独立行政法人	会員	それ以外	
28	図書館は本を貸出だけがお仕事ではないと思います。貸本屋さん以外の リファレンスや起業相談に乗ってくれる場所、情報を探している人がインター ネットのように雑然とした中から、有用な情報だけを見つけるためにも図書館 は必要です。大切な歴史であり学びと出会いのための空間をぜひひびき 受け継いでいって欲しいです。	その他	会社員	会員	未記入	千葉県
29	神奈川県資料室研究会にお世話になっております。民間企業の資料室部門 として、県立川崎図書館のサービスを活用させていただいており、これがなくな ると困りますので、神資研の活動を存続させていただきたいと思ひます。県 立川崎図書館の蔵書・サービスは、企業活動にとっても不可欠のものとなっ ており、存続させていただきたいです。	企業内資料・情報部門		会員	在住	
30	県外から神奈川県資料室研究会に参加させていただいており、県立川崎図 書館の皆様には大変お世話になっております。 一般企業にしながら公立図書館の支援を受けられる、また、一緒に研究会 を運営するというユニークな活動をぜひ今後も続けていくべきと考えます。県 立図書館でなくてはできないスケールのサービスを縮小するのではなく、もっ と拡大することで利用者を増やす工夫のほうが大事だと考えます。	企業内資料・情報部門		会員	それ以外	
31	会のHP等、未だきちんとした情報を確認していませんが、デポジットライブラ リーを活用させていただいている身としては、非常に不安です。 我々企業図書館は、元来最も高額な費用で出版物を入手しなければなら ず、非常に苦しい立場にありながら、神資研のような有意な活動がかんうの も、県立図書館のご協力なしではありえません。 全国的にもまれな取り組みがされている図書館について、県はもう少し、目を 向け、県民の意を汲むようお願いしたいところです。	企業内資料・情報部門		会員	在住	在勤
32	県立川崎図書館には神資研を通じて非常にお世話になっております。 メーカー企業内図書館にとって、必須の科学技術分野の本、雑誌を多く所蔵 している川崎図書館は無くしてはならない存在です。 存続を強く強く希望します。 また、もし川崎図書館が廃止された時の神資研の活動も心配です。	企業内資料・情報部門		会員	在住	在勤
33	調査・研究目的で利用する場合、「すぐに見られる」「そこに行けば見られる」 という環境は必要と思ひます。川崎図書館のようなユニークなコレクションの 場合、各市町村の図書館員の方たちが、現在の川崎図書館のようなレファレ ンスサービスをして頂けるのか難しいと思うので、場所は移っても機能は残し て頂きたいです。	企業内資料・情報部門		会員	在住	在勤
34	県立図書館の機能縮小と廃止は、学術・社会活動の将来に鑑みて大きな損 失であると考えます。何とかその機能・役割を維持してほしい。	その他	公共機関	会員	それ以外	
35	できれば維持してほしいです	企業内資料・情報部門		会員	在住	在勤
36	存続を強く希望します	企業内資料・情報部門		会員	在住	在勤
37	廃止案があることを知り、大変驚いております。私は企業の図書担当をして いますが、雑誌のバックNoやケミアブ等は神奈川県立川崎図書館に所蔵が ある事を確認して泣く泣く廃棄処分しました。従って大変困ります。 当方の社員も市場調査資料など閲覧させていただいている人が多くいるの だと思ひます。今まで通りの機能で継続していただきたいと思ひます。	企業内資料・情報部門		会員	在住	
38	研究員の必要に応じ、川崎図書館の所蔵を利用して頂いている。貸出利 用が出来なくなる事は非常に困る。ぜひこのまま残してほしい。	企業内資料・情報部門		会員	在住	
39	当社では、神奈川県立川崎図書館の図書・複写サービスをたいへん有効に 利用させていただいております。 今回の検討について、現状もしくは各図書館のますますの発展を期待してい る者として、反対という立場です。膨大な技術情報データベースの保持管理 の施設ということで、国の機関としても重要なものと思ひます。	企業内資料・情報部門		会員	それ以外	
40	新聞報道によると図書の貸し出しを中止するとのことですが、出来れば続け てほしい。貸出し管理にどれくらい費用が必要なのか？それほど支出を要す と思ひませんが。 神資研は今後どうなるのですか？	企業内資料・情報部門		会員	在住	

41	財政的な問題で集約化しなくてはならないという点は理解できますが、一方で蔵書が市町村図書館を通じての閲覧のみというのは不便さを感じます。しかし両図書館がこれまで県民に対してそれぞれの図書館の特徴、役割について発信し、県民にとって必要だと感じられる図書館の在り方をしていればこのような話も出て来なかったのではないかと思います。	その他	会員	それ以外	
42	科学技術資料の巨大なコレクションをスムーズに使えなくなるのは非常に困ります。機能、場所は問いませんが上述の利用法は保持していただきたい。	企業内資料・情報部門	会員	在住	
43	廃止は非常に困ります。せめて神資研だけでも継続願います。文献複写サービスなど、現在大いに利用させて頂いております。	企業内資料・情報部門	会員	それ以外	
44	図書館への予算を減らすことは、日本をダメにする。増額すべきだと思います。教育が今の日本を造って来たことを忘れてはいけません	その他	会員	未記入	
45	先日、TVの報道にて公共図書館の利用率が高くなっているとの報道があり、ちょっと意外な印象を持ちました。活字離れ、インターネットの普及が話題になる昨今、図書館の利用もそれに応じて減っているのではと思っていました。報道では景気の低迷等で本を購入することが減っていることに起因すると片付けていましたが、私自身は背景には様々な要因があるのではと感じています。さて、今回の神奈川県立図書館の件は、正直ユニークな存在が整理されることに非常に残念な思いをしております。上記に述べた図書館利用の増加している要因に、神奈川県ユニークさがひとつの力になっていると自身分析していましたから。本をただ保管するだけでは、価値を失う図書館ですが、人が足を運ぶ動機を、個性としてしっかり保てば、図書館の可能性はまだまだ広がるものと考えます。その一番肝心のユニークさにメスが入ったことは本当に残念です。	企業内資料・情報部門	会員	それ以外	
46	県立川崎図書館の統合廃止のニュースを聞き、大変驚きました。残念でなりません。勤務しております図書館では、県立川崎図書館の資料を複写で取り寄せ、また貸し出しも利用させて頂いております。科学系の蔵書資料の豊富さは、見学に伺ったことのある同僚から聞いております。長年に渡り、この分野の情報を収集し、また蓄積された豊富な資料が所蔵されています。それが有効に使われなくなるのは、社会的文化的にも、また日本の研究者達のためにもあってはならないことです。募金を募るなどの活動、またはNPO法人化…さまざまな形を検討されてはいかがでしょうか。日々研究を続ける研究者達のために、存続されることを願っております。	企業内資料・情報部門	会員	在住	在勤
47	○いつも、技術文献複写をしてもらったり、図書貸出、規格など、低料金で使わせてもらっています。 ○廃止は本当に困ります。 ○もう一度きちんとしたご検討をして頂きたいと思っています。	企業内資料・情報部門	会員	それ以外	
48	県立川崎図書館は特に中小企業の方に便利に利用していただいていると聞いている。廃館は神奈川県内のみでなく、東京や千葉の中小企業にとって打撃であり、結果として日本の産業の衰退にもつながりかねない。日本国内でもまれな、科学技術に特化した公共図書館である県立川崎図書館の存続を強く希望する。	その他	会員	それ以外	
49	遠い県外の企業資料室として川崎図書館にはどれだけ助けられているかわかりません。技術資料が豊富なので文献複写も良く利用しています。技術図書も借りることが出来るので入手困難な図書をみる事ができます。この図書館がなくなることは企業資料室として大変困る次第です。これは川崎図書館や県立図書館を利用している企業は同じ思いではないでしょうか。科学・技術に特化した全国唯一の公共図書館であり～以降の文面通りです。いま、それぞれの自治体は自分のところの「売り」を探していると思いますが、川崎図書館も類のない川崎市の「売り」だと思います。川崎市の借地を29年度までに返還するとなつていますが 川崎市の再編整備計画に川崎図書館が計画の中に取込まれる方法はないのでしょうか。県立図書館の機能を純化し「効率化」に向けて検討。机上の数字でしか見えない人は「効率化」の考え方も違ってくると思います。一方向からしか見えない人もしくはりです。たとえ川崎図書館が県立図書館の方へ集約されても機能を変えないようにしないといけません。全国唯一の図書館の機能をなくすとは 後の時代の人に笑われるのではないのでしょうか。残すためにはどうすればよいか 大変ですが図書館と力をあわせ 必要であれば企業のカも借りて頑張ってください。	企業内資料・情報部門	会員	それ以外	

50	<p>神奈川県は、古都鎌倉や歴史あるベイエリアみなどみらいを有する文化、文明の香り漂う県です。その東端に位置する川崎市は、今や音楽を発信する商業都市として変貌しつつあります。東京勤務ではあっても川崎生まれで横浜在住の私としては、ネイティブな街々のこのような成長をとてうれしく感じています。しかしながら、一方、今回報じられている公立図書館の機能縮小に対しては、長きにわたる住人としてとても残念な気持ち、本当にそれでいいのか、といった不安感を感じます。というのも、横浜市、川崎市の本質は未だに産業都市、工業都市であり、ものづくり日本を代表する京浜工業地帯の中心地であることを誇りに感じているからです。県の東南沿岸部は大企業、中小企業がひしめき、その生産物が港から内外に運ばれており、それが県や日本の人々の暮らしを支えているという住民が自負の持てる地域であり、それを忘れては神奈川県も日本も立ち行かなくなることでしょう。産業都市、工業都市として発展してきたこの地域の産業支援策のひとつが県立川崎図書館であって、これを今後ますます発展させることが日本の産業振興にとても有意義だと思うのです。そして開架式の図書館であることが重要です。私も、小学校時分に自転車で乗って県立川崎図書館に遊びに行き、ついでに見た大きなカラー図鑑のインパクトが強かつ嬉しく、工学系の学校、就職へとつながっていったのだと感じています。開架式図書館での図書への出会いや人との出会いは、ときには大きな意味を持つのではないのでしょうか。</p> <p>大きな書庫があってそこから地域図書館にオンデマンドで配信すれば良いという合理的な考え方よりも、図書館を文化、文明の伝承と発展、出会いの場だと考えるべきだと思うのです。図書館には、図書館に向いた人間に感動や感銘を与えてほしいものだと思います。映画とテレビの関係に似ているのかもしれない。中央図書館を純粋に書庫機能専用にするというのも財政難の中での合理的一案ではありますが、それはもはや図書館ではなく、物流センターにしか過ぎないのではないのでしょうか。これからも工都を支えていく神奈川県立図書館には、工都であることを自負する県民にふさわしい中央図書館としての機能を持ってほしい、そしてそれは物流センターではないと思います。</p>	その他	公共機関	会員	在住	
51	<p>神奈川県は、古都鎌倉や歴史あるベイエリアみなどみらいを有する文化、文明の香り漂う県です。その東端に位置する川崎市は、今や音楽を発信する商業都市として変貌しつつあります。東京勤務ではあっても川崎生まれで横浜在住の私としては、ネイティブな街々のこのような成長をとてうれしく感じています。しかしながら、一方、今回報じられている公立図書館の機能縮小に対しては、長きにわたる住人としてとても残念な気持ち、本当にそれでいいのか、といった不安感を感じます。というのも、横浜市、川崎市の本質は未だに産業都市、工業都市であり、ものづくり日本を代表する京浜工業地帯の中心地であることを誇りに感じているからです。県の東南沿岸部は大企業、中小企業がひしめき、その生産物が港から内外に運ばれており、それが県や日本の人々の暮らしを支えているという住民が自負の持てる地域であり、それを忘れては神奈川県も日本も立ち行かなくなることでしょう。産業都市、工業都市として発展してきたこの地域の産業支援策のひとつが県立川崎図書館であって、これを今後ますます発展させることが日本の産業振興にとても有意義だと思うのです。そして開架式の図書館であることが重要です。私も、小学校時分に自転車で乗って県立川崎図書館に遊びに行き、ついでに見た大きなカラー図鑑のインパクトが強かつ嬉しく、工学系の学校、就職へとつながっていったのだと感じています。開架式図書館での図書への出会いや人との出会いは、ときには大きな意味を持つのではないのでしょうか。</p> <p>大きな書庫があってそこから地域図書館にオンデマンドで配信すれば良いという合理的な考え方よりも、図書館を文化、文明の伝承と発展、出会いの場だと考えるべきだと思うのです。図書館には、図書館に向いた人間に感動や感銘を与えてほしいものだと思います。映画とテレビの関係に似ているのかもしれない。中央図書館を純粋に書庫機能専用にするというのも財政難の中での合理的一案ではありますが、それはもはや図書館ではなく、物流センターにしか過ぎないのではないのでしょうか。これからも工都を支えていく神奈川県立図書館には、工都であることを自負する県民にふさわしい中央図書館としての機能を持ってほしい、そしてそれは物流センターではないと思います。</p>	その他	公共機関	会員	在住	
52	<p>県立川崎図書館が科学技術関係の情報流通に一定の役割を担っていることは周知の事実であります。企業や科学技術関係者を対象とした県立川崎図書館が、一般市民を対象とした県立図書館と比べて、来館者数に大幅な違いがみられないのは、驚きであり、全国的に見ても類をみない県立図書館であると思います。今回の検討が神奈川県立の財政危機によるものとのことですが、神奈川県下の企業が県立川崎図書館を利用し、企業収益を上げ、法人税という形で地方自治体に還元されていること事実を踏まえ、予算の削減が税収入の減少を引き起こしかねない状況になりますことを踏まえて、検討いただくことが肝要と考えます。※県立川崎図書館来館企業のうち、法人税を支払っている企業数や税額をエビデンスにするとなお、説得力があがると思います。</p>	その他	公共機関	会員	それ以外	
53	<p>科学技術立国を標榜する我が国において、知の基盤となる公共図書館が単に財政面や表面上の費用対効果のみを勘案され、縮小が検討されていくことに大きな危機感を覚えます。県立図書館の蔵書を相互貸借によってのみ利用可能とする方向性についても、文献・書籍の電子化と相俟って進めば利便性や利用率を大きく損なうことはないかもしれませんが、単に相互貸借の要求があった場合にのみ、利用されるということでは、利用率が格段に落ち込み、それが費用対効果としてマイナスに評価される悪循環に陥るだけだと思います。また、日本の企業の大多数を占める中小企業の研究・開発担当者が無償で技術情報にアクセスできる場合も、大変重要であり、その先駆的な存在として活動してきた川崎図書館の役割も適正に評価されるべきだと思います。</p>	その他	データベース	会員	それ以外	
54	<p>川崎図書館は企業活動を支援する様々なユニークな取り組みをしてきており、自分の県でもこうした取り組みがなされないかと感じていたところであり、廃止は非常に残念である。昨今は外国誌の高騰など、企業が独自には情報を集められなくなってきている中、時代に逆行する措置ではないか。</p>	その他	公共機関	会員	それ以外	

55	<p>県立川崎図書館は、神奈川県内における企業、産業への貢献、支援を行う公共図書館として、全国的にもユニークな活動により県内の産業育成、発展等に大いに貢献しており、評価は非常に高いものです。その評価は、神奈川県内だけでなく、関東圏内での関係者は当然として、全国の関係者から認められていると思います。神奈川県立図書館と神奈川県立川崎図書館の機能集約、廃止については、産官連携による企業の研究開発に支障をきたす恐れがあり、産業の発展を妨げになることを危惧します。また、本の閲覧、貸し出しサービス廃止の考えは、図書館としての機能、活動について自ら首を絞めることであり非常に問題があると思っている。この度の両県立図書館の集約、廃止については、検討項目から除外するように強く要望したい。そして、川崎図書館が創立された理念を維持し、更なる活動の展開を行っていくことを期待しています。</p>	その他	情報サービス機関	会員	それ以外
56	<p>今、企業の図書館はなくなりつつあると聞く。インターネットもあり、様々な手段で科学技術情報をアクセスできることが理由であろう。また、企業は不景気になれば、利益に直接つながらない部署をなくすことは仕方がないことである。このような状況だからこそ、企業を直接支援するビジネス支援型図書館の重要性が高まっている。神奈川県立川崎図書館は、そのような位置にある図書館であり、神奈川県内外の企業で働く研究者や技術者のために、その機能を絶対に閉じるべきではない。</p> <p>私は、かつて神奈川県内の電機系企業に所属し、技術者として働いていた。その時は、企業の図書館が充実しており、必要な科学技術論文、特許、書籍を読むことができ、業務に役立てることができた。技術者にとって、新鮮な科学技術情報は、必須であり、水のようなものである。</p> <p>例えば、日本の電気系学会は、研究会を持っており、その研究会が技術研究報告書を発行している。これは、査読のない論文誌のようなものであり、その分野の最新の研究情報を知ることができた。企業の図書館では、電気系学会が発行するすべての技術研究報告書を読むことができ、知見を広めることができた。</p> <p>また、海外の論文誌についても、図書館が購入し公開することで、企業の技術者は常に読むことができた。私が就職した80年代は、インターネットもなく、海外の科学技術情報は、なかなか知ることができなかった。</p> <p>図書館があったからこそ、こうした情報にも触れることができた。</p> <p>企業の図書館が閉館する中、新鮮な科学技術情報を提供するビジネス支援型公的図書館は、企業の研究者や技術者にとって必須な存在である。</p> <p>特に元々、図書館を設置できず、論文誌だけでなく公的機関が発行する灰色文献や、高額な専門書等に触れる機会が多いとは言えない中小企業の研究者や技術者にとっては、企業向け図書館がなくなることは大きな問題であると推察する。</p> <p>東日本大震災の影響もあり、県の財政も厳しいことと予測するが、多少の移転が生じて、ぜひとも川崎図書館の機能は維持して頂きたい。</p>	その他	公共機関	会員	それ以外
57	<p>産業空洞化が叫ばれている現在、ますます国内企業（特に中小企業）の技術研究開発・人材育成を積極的に進め中小企業の独自技術の構築を推進していかなければならないことは明白である。その中で中小企業に最も身近な地方図書館の存在はその拠点として重要な存在であり、廃止すること自体、中小企業の弱体化をさらに進めることを意味する。</p> <p>単なる廃止を勧めるのではなく、その役割の転換を図り、より中小企業の役に立つ存在としての図書館を構築すべきである。</p>	その他	公共機関	会員	それ以外
58	<p>神奈川県立川崎図書館は、川崎市を中心とした地区に立地する産業界の要請に応じて、全国でも稀な、科学技術情報、特許・規格情報、技報、社史等のコレクションが豊富。これらの貴重な資料が利活用されなくなるような行政判断はすべきではない。たとえ財政対策の一環公共図書館としての機能を見直したとしても、このようなコレクションと利活用機能の継続は別途措置すべし。</p> <p>また、地域立地企業等の情報部門に所属する方々を中心とした神奈川県資料室研究会のハブとなる活動を川崎図書館が50余年に亘って担ってきたが、これも全国稀なユニークかつ貴重な活動である。県内企業の情報収集・利用研究活動の場を失うことの無きよう十分な配慮が極めて重要。</p>	その他	公共機関	会員	それ以外
59	<p>神奈川県緊急財政対策本部の作成資料に「平成24年度は実質的には当該年度中の歳入では歳出を賄いえていない状態である。」との記載がありますので公共図書館に限らず、県が実施している公共サービスの見直しは必要だと思えます。</p> <p>2館の施設維持費用もそれなりの規模になるとしますので、「機能集約」は受け入れても良いかと思いますが、「資料の閲覧ができなくなるような機能廃止」は県内だけでなく県外の企業にとっても研究開発等での有効な情報の入手手段が無くなってしまおうので見直しを望みますが、もし見直しが難しいのであれば、閲覧機能を有する公的図書館（例えばNDL等）に寄贈していただきたい。</p>	その他		会員	それ以外

60	<p>図書館の将来的な役割をさらに論議すべきではないか。インターネットの時代に入り、図書館の役割もそれに呼応して変化してきている。</p> <p>例えば県立川崎図書館はそのターゲットを技術、科学に絞り、中小企業や個人の起業支援等も活発行うビジネス支援図書館として役割を強化している。特にビジネス支援図書館は過去の科学技術基本政策でも言及されたほか、世界の”知”を集積する英国図書館でも「Business & IP Centre」を設け、中小企業や個人の起業、ビジネス支援に積極的に取り組んでいることも注目に値する。</p> <p>科学技術基本政策 (平成22年6月16日 総合科学技術会議の基本政策専門調査会の間取りまとめ) http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/seisaku/c_torimatome.html http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/seisaku/c_torimatome/kihonhoushin18.pdf</p> <p>英国図書館 http://www.bl.uk/bipc/ つまり書籍や情報の知の集積を進めつつも、その利用、活用を更に進めることが肝要と思われる。これはニューヨーク公共図書館の中の1つである科学産業ビジネス図書館(SIBL)の著名な成功例もその言を待たない。</p> <p>知の集積(図書館的機能)に人そして人知が交わる場所を提供する息の長い仕事が明日の図書館の一つの形ではないだろうか。 今回の予算削減のための措置からはそうした視点が薄れているように感ずる。 是非そうした活用案を行政、民間 そして図書館関係者で十分議論し縮小均衡な政策に終わらないことを希望する。</p>	その他	公共機関	会員	それ以外
61	<p>神奈川県立川崎図書館が廃止等となるとの報道を受けて、非常にショックを受けております。同館は、産業振興等のために設立された元祖ビジネス支援図書館とも言われているユニークな機能を有し、中小企業等にも積極的に情報提供するなど、その活動は素晴らしいものと思っておりました。</p> <p>また、神奈川県資料研究会(神資研)の重要な拠点でもあり、京浜、京葉地区の民間企業の専門図書館等が参加し、非常に重要な交流の場を形成しております。</p> <p>特に科学技術だけではなく、産業やビジネスといった情報展示や、土日に地元の中小企業等の方々を集めて、講習会等を積極的にを行うなど、非常に進歩的な図書館活動を展開され、他県にも誇れる図書館であると思ってきました。</p> <p>第4期科学技術基本計画で知識インフラ等の重要性が述べられている今、川崎図書館の廃止は時代に逆行するものであり、廃止には強く反対したいと思っております。</p>	その他	公共機関	会員	それ以外
62	<p>県立川崎図書館は、他の県立図書館にはない「産業と技術の情報ライブラリー」という理念の下、ユニークな蔵書と広報・普及活動により、50年以上にわたり県民に貢献し、親しまれる存在となっています。公開セミナーに参加したことがあります。満員の人でにぎわい、知る楽しみを支えてくれる図書館という場所の大切さを感じることができました。</p> <p>今回の発表資料によると、県立図書館の閲覧・貸出機能を廃止し、公立図書館間の相互貸借システムによる利用を検討する方向とのことですが、方針に基づき収集されている充実した資料を手にとることができる「場」としての図書館の意義をもう一度見直していただきたいと思っております。</p> <p>図書館は直接には財政対策に貢献する施設ではないかもしれませんが、積極的に運営することで人が集まり、神奈川県にこれまで以上に大きく貢献できる可能性を持っているのではないのでしょうか。</p> <p>2つの県立図書館は、「横浜＝文化の発信地」「川崎＝産業の拠点」という、神奈川県の大変な特長を象徴しているように思われます。</p> <p>県立図書館が知識と人をつなぐ場として存続し、神奈川県をアピールする施設として活用されるよう、方針が再考されることを願います。</p>	企業内資料・情報部門		会員	在勤

63	<p>突然の新聞報道には、ただただ驚いております。 神奈川県立図書館2館は各館特徴のある図書館で、特に県立川崎図書館は他県には存在しない科学・技術に特化しており、学会協会誌、技報、講演要旨集、特許、規格など所蔵数も多くあります。企業の研究活動には欠かせない資料の宝庫と言っても過言ではありません。 各企業研究所にも図書室(館)は存在しますが、企業という立場では業種により収集が難しく、県立川崎図書館に所蔵されている資料を参考に研究が進められることが多くあります。 そんな特徴のある素晴らしい図書館を「機能集約・廃止の検討」している県に対しては、大変遺憾であり不信感が募ります。 神奈川県の財政が困難であることは十分承知ではありますが、それらを解消する対象を図書館にしてしまう、という考えが神奈川県の将来を見据えることになるのでしょうか。</p> <p>神奈川県資料室研究会でも様々な意見を集約して、是非とも県民や利用者としての声を挙げて頂き、県立図書館及び県立川崎図書館の存続を維持出来る活動をお願い致します。 これを機に県立図書館、県立川崎図書館、そして神奈川県資料室研究会の存在を県や様々な方面にアピールして活動や機能などを理解して頂ける良いチャンスとして受け止めることで、少しでも良い結果に繋がるのではないのでしょうか。</p>	企業内資料・情報部門	会員	在住	在勤
64	<p>長年にわたり収集してきた貴重な資料、特に科学技術情報はとても重要と思います。また、一から集めなおすのも大変です。 これらを簡単に利用できなくなるのは非常に不便なことと思います。県は再度検討しなおすべきです。 神奈川県資料室研究会の活動が止まらないように頑張ってください。</p>	その他	会員	在住	
65	<p>ビジネス支援やイベント開催など積極的に取り組まれていたので、廃止は非常に残念に思う。</p>	その他	会員	それ以外	

No.	自由意見	所属	会員/会員外	在住・在勤
1	図書館の意義を思いだしてください。	公共図書館	非会員	在住
2	<p>それぞれの館に、他にないサービスや、資料があります。川崎図書館のように、地理的な特性でサービスが成り立っていることを考えると、機能を残すことをお願いしたいです。本館の保存機能、川崎のリサーチ機能です。 ついでに、図書館の建て替えを検討して下さい。図書館の資料は、これから50年、100年と残していなくてはなりません。現在の建物では、50年、100年はたえられません。</p>	大学図書館	非会員	それ以外
3	<p>新聞で読んで愕然としました。県立の図書館がない県になるなんて信じられません！「KLNetで、市町村を窓口で資料がまわるから」とありましたが、市町村の図書館で相互貸借の制度はそれほど利用者に知られているわけではないのに、ムチャ言ってるなあと感じます。(私の地元の図書館では「よその市町村や県立の資料からも借りられます」等の表示はない。)収書方針も、利用者層も、役割も、市町村図書館とは別であり、ゆえに必要なのだと理解してほしいです。</p>	専門図書館	非会員	在住 在勤
4	<p>反対します。 ただでさえ神奈川県は図書館少なすぎ。これ以上減らしてどうするのか？</p>	公共図書館	非会員	在住
5	<p>県立川崎のユニークな取り組みは全国的にもめずらしいのではないのでしょうか。(企業ともつながってる イベント(たくさん)やる)そういう特色ある図書館がなくなるのは神奈川県の財産をなくすのと一緒です。県立図書館の貸出・閲覧サービスをなくすのは県民に公平な図書館サービスを行うべきなのに県立の担っている役割を放棄し、市町村におまかせといういささか無責任ともとれます。</p>	公共図書館	非会員	在住
6	<p>財政事情が厳しいとはいえ、都道府県立図書館としての役割、機能を放棄する施策と言わざるを得ない。県民だけでなく国民に対しても納得のいく説明(しないと思うが)を求めたい。 川崎図書館のこれまで果たしてきた役割は、国内でもかなり特別なものであり、素晴らしいものである。 また、県立図書館は単なる保存書庫ではなく、閲覧ができないというのは図書館というものを全く理解していないのではないか。 神奈川県は文化に力をいれている国内でもトップクラスの自治体と思われ、その県がこのような施策をうちだすとは信じがたい。 再考を願うものである。</p>	その他	自治体職員 非会員	それ以外
7	<p>できるだけ一般の利用者が気軽に利用できる図書館を確保していただきたい</p>	学校図書館	非会員	在住

8	あの報道は、今までの職員の努力を無にするほどの強烈なマイナスイメージを世間に与えたと思う。神奈川は県立図書館をなくすと受け止められて、修正するためには大変な労力がかかる。 機能の再検討、集約などと言っていた直後にあのようなことになり、とても心配。 一刻も早く、新しい未来像を作って打ち出し、マイナスイメージを減らさなければならぬと思う。	学校図書館		非会員	在住	在勤
9	再編を行うとしても、現在の県立図書館の機能、コレクション利用のサービスレベルが維持、発展される形で行われることを希望します。現行の閲覧、貸出の停止は、そうは思わないので。	公共図書館		非会員	それ以外	
10	専門性を持った、公共の図書館はユーザーにとって大変貴重な存在で立地も便利だったのでよく利用させて頂いた。 廃止反対！	専門図書館		非会員	それ以外	
11	県立図書館と市町村図書館では所蔵している資料の内容や県民市民求められる役割も違っていると思います。県立図書館が市立図書館をサポートするためには県民に直接閲覧、貸出ができるサービスを提供することは大変意義があると思いますし、今後も継続して行っていくべきだと思います。	公共図書館		非会員	在住	
12	県立図書館の認知度に関して言うなら、県民・市民から決して高い認知度・高評価とは言い難い気がする。 けれども、現在の利用者のニーズを維持・拡大させる為には、県立図書館の機能集約や廃止は行うべきではない。 県内の企業・産業の発展には、これらの施設は不可欠であると考えている。	その他	学生	非会員	在住	
13	絶対に反対します。 新聞報道しか判りませんが貸出禁止閲覧禁止となれば情報機器になれない者はどうしたら、よいのか。図書館の持つ意義を考慮してほしいと思います。図書館で唯椅子にすわってポーとしていてもそれ自体に意味があると思います。	その他	一般	非会員	在住	
14	資料の閲覧もできない施設は図書館ではありません。貸出しはともかく、閲覧はできるようにしてもらいたいと思います。 雑誌など多くの資料を同時に見たい資料もあります。 川崎図書館のような、ユニークな活動をしている図書館を廃止する、という方向に進まないよう、微力ながらお手伝いしたいと思います。	公共図書館		非会員	在住	
15	市町村図書館を通すと、調査研究で図書を利用し、追加で必要な資料ができてその場で調べられず不便だと思う。 たとえ資料の貸出ができなくなったとしても、閲覧だけはできた方が良く思う。	公共図書館		非会員	在住	在勤
16	科学関連の資料閲覧機能は削減するといっても効果は微々たるものではないか？削減の効果を明らかにしないと説得力がないと思う。	未記入		非会員	未記入	
17	県民全体のサービスの低下にならないよう配慮をお願いします(書庫にしたら利用が半減するのでは？)	大学図書館		非会員	在住	
18	集約という言葉が安易に語られていると思う。 今までの歴史実績影響において、県立図書館と県立川崎図書館はそれぞれの特色を生かした代替のきかない役割を担い、計画的に事業、企画を行ってきた。 2つあるから1つにするというのは、実態を把握できていない提案です。 市町村に役割を振りわけようという提案も提案されているが、サービス実践を通じてつちかわれた蔵書構成、職員の力量は県立図書館ならではできなくてあり、閲覧、対面サービスの維持することは難しいと思います。	公共図書館		非会員	在住	
19	とんでもない指針である。 川崎は、大変役立っている。特に産業と工学に特化し、例えば社史は、品揃えはいいし、借りることすらできる。また、展示もタイムリーIPs細胞や洗濯機の展示は参考となった。その川崎が集約・廃館になる案は、県民として納得できない。 紅葉ヶ丘も、閲覧できず、貸出しも市立図書館を経由しなければならないアイデアは「純化」というが、思いつきにすぎないのではないかと。 県民も入れて、グランドデザインをきちんと議論するのが先決であろう。	その他	利用者	非会員	在住	
20	神奈川県内の公共図書館利用者は2千万人を超える。また、今後はより一層幅広い利用者に向けて課題解決型図書館としての機能発揮が求められている。 こうした利用者全体の利便性の向上、役に立つ図書館としての視点での検討をお願いしたい。	公共図書館		非会員	在住	
21	県立図書館は2館ありますが、それぞれ収集図書も異なり、役割もそれぞれあります。それを1つにまとめようというのは無理がありますし、余計なコストもかかるように思います。 また、県民の意見を聞くことも大事だと思います。	公共図書館		非会員	在住	
22	神奈川県レベルの大きな県で県立図書館を廃止するというのは、あってはならないことであると考えます。川崎図書館のビジネス支援・社史コレクションも続けていただきたいです。	大学図書館		非会員	未記入	

23	横浜、川崎の京浜工業地帯の中心に位置し、情報発信、閲覧の中核的存在として絶対に廃止して欲しくない施設です。 多くのエンジニアや研究者学生も困ると思います。継続を是非よろしく願いいたします。	その他	日本機械学会	非会員	在住	
24	川崎図書館の機能は他に代替できない物であり機能として残すべき。 また貸出・ILLに限定するのではなく閲覧機能が必要。日本の科学技術を支えるために再考をお願いしたい。	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外	
25	これまで収集してきた資料は貴重なので、公開せず死蔵するのは公共団体として望ましくないと思う。	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外	
26	書庫は図書館ではないと考えます	その他		非会員	在住	在勤
27	県立川崎が企業向けのサービスを行うことで、県などの税収もアップするかもしれないので、サービスはやめない方がいいと思います。	大学図書館		非会員	在住	
28	まず、ものすごくショックでした。神奈川県で生まれ育ったものとして、文化レベルの高さの象徴でもある2つの県立図書館をとっても誇りに思っていたのに、本当にかかりました。 図書館は、暇な人が本を読むだけの場所ではなくアイデアを生み出したり、産業実務のヒントもたくさん得られる場所、という認識を政治家や県の行政職の方々にも持っていただきたいと思っています。 もちろん箱の問題だけではなく、人材育成も含めてですが、移転は仕方ないとしても機能集約は機能低下と将来的な県の文化・経済レベルの低下につながるものと思います。 県立図書館と市町村立の役割は違うものです。いつまでも誇れる神奈川県であって欲しいと思います。	専門図書館		非会員	それ以外	
29	県立の図書館へは、横浜に1度位赴いたことがございます。中々の立地の中にある県立図書館は、一時代を築き継続をしてきた風格を感じます。しかし、それは今の時代との整合性に与えられているかという疑問も出てきます。図書館奉仕の精神は時代と共に変化しつつ保たれてきたものであると思います。今日提案された県立図書館の統廃合についても、今日の状況に応じた流れへの回答を求められているのではと思います。提案のとおり、県立図書館が“図書館の図書館”としての機能を重視との考えならば、県立との相互協力関係にある市町村立の図書館にも、県立の専門性を、県民、市民、町民、村民の人々への提供を今日より浸透した流れになるように、期待しています。私達県民、市民、町民、村民も図書館への関心を向くよう努めます。	公共図書館		非会員	在勤	
30	寝耳に水のニュースに驚いています。 県民も入れたこれからの神奈川県立図書館を考える会を早急につくり、ピンチはチャンスにいい図書館へジャンプして欲しいと思います。 県内の図書館友の会の市民は皆尽力する気持ちを持っています。 図書館は職員や知事のものではなく、県民の財産です。どんどん情報開示していい運動にしていきたいと思います。 貸出はともかく閲覧できない事は全く困ります。	その他	図書館とかがら・鎌倉	非会員	在住	
31	とんでもないことだと思えます。 直接サービスをしない図書館では県民の利益を権利を奪うことだと思えます。 県立両館の持つ貴重な資料、職員を生かすためには利用者と同じに接するようにしなくてはだめだと思えます。 又、その場での閲覧をめきには考えられません。 地元(県内の)の図書館で見てくださいでは、スピードが遅くて役に立たず経済界にもマイナスがはなはだしいと思えます。 県立両館の利用形態を残しつつ、建物等を今に合ったものにしてほしいです。	公共図書館		非会員	在住	
32	とくに川崎は企業系・ビジネス系で有名なので廃館はやめた方がいいと思う。一度なくしたら元にもどすのはたいへん。 資料はどう活用するのか。廃館以外にまだできる工夫をさがすことはできないのか。	公共図書館		非会員	それ以外	
33	県内の市立図書館で仕事をしている者です。県立図書館、県立川崎図書館には大へんお世話になっております。 神奈川県民として、県はいったい何を考えているのか！！ 県立図書館、県立川崎図書館は県民にとってはなくてはならない重要な図書館です。 是非存続していただきたいと切望します。	公共図書館		非会員	在住	
34	市の図書館で働いています。 市からすると、県立・都立の図書館は困ったときのたよりの図書館です。 そこへ直接手が入るということに驚いています。 親玉はドンと安定してほしいです。	公共図書館		非会員	それ以外	

35	<p>県立川崎図書館は公共図書館であるが、専門性が突出していて県内の多くの市町村図書館が自力では出来ないことを(単にいくらお金をかけてもできないことを)集中して行なってきてくれている。</p> <p>そして、その立地が多くの大・中小企業がある川崎にあることにより、長年をかけて、理工学関係の情報を企業情報までも含めて集約し、それを県住民だけでなく、全国の必要な人に届けられる体制をも作り上げてきている神奈川県を誇る施設である。</p> <p>そのために多少のお金がかかるのは当たり前で私は県民の一人として(お金をかけることに)不満を感じたことなど一度もなく、いつも感謝してきた。県立川崎図書館を廃止するなどという考えは後世の批判に耐えられない暴論でしかない。ありえないことである。</p>	その他	NPO職員	非会員	在住	
36	<p>やめてほしいと思います。この問題についての県知事の質疑応答の記録を拝見しましたが、正直図書館について知らないのだという印象が強くありました。図書館側からの情報の発信というものが届いていなかった、足りていなかったのかとも思います。</p> <p>私もそうですが、利用者にとって数ある蔵書から、直接見て選ぶと言うことは大事だと思います。貸出・閲覧を廃止することで題名が分かっている本としか出合うことができなくなってしまうと思います。利用の可能性を、提供する側からなくしてしまうのは駄目だと思います。一県民として、もう一度廃止、縮小について検討しなおしてほしいです。</p> <p>神奈川県の将来を考えるならば、安易に教育や文化というものをつぶさないで欲しいと思います。</p>	公共図書館		非会員	在住	
37	<p>・在住、在勤の方が多い神奈川県で県立図書館が1館しかないのはいかかなものか。</p> <p>・市立(横浜、川崎等)図書館が充実しているのは分かるが、それが県立図書館の閲覧・貸出サービスを止める根拠になるのか。</p> <p>・川崎図書館の貴重なコレクション、サービスを停止しないでほしい。</p>	公共図書館		非会員	それ以外	
38	<p>コストパフォーマンスとの兼ね合いだと思います。スペースの維持は重要では無く利用者サービスをいかに維持するかが重要だと思います。</p> <p>図書館が頼みの場になっているという一面もあると思いますので、正解の答えではありませんが、サービスをネットや業務の形式の変更で維持すべきだと思います。</p>	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外	
39	<p>機能集約廃止等に反対です。</p> <p>従来通り県立川崎図書館との連携を維持できるようご検討されることを希望します。</p>	大学図書館		非会員	在住	
40	<p>びっくり致しました。</p> <p>とても有意義な活動及びサービスをしておられ、廃止はもったいなく、残念に思います。ぜひに継続の運営を希望致します</p>	企業内資料・情報部門		非会員	在住	在勤
41	<p>川崎図書館がもつ機能(産業情報、神資研事務局)をぜひ残してください</p>	専門図書館		非会員	在住	
42	<p>県民として使っていて便利です。これまで通り使わせてほしい。こうした費用は削るべきではない。特に川崎図書館はユニークで残してほしい。直接見ることが大切。ネットで検索しただけではわからない。タイトルだけでは、中身を見てわかることも多い。</p>	その他		非会員	在住	
43	<p>廃止には反対です。</p>	その他		非会員	それ以外	
44	<p>県民の方々の色々なご意見、職員の方々の県立図書館としての働きや現場での実感を伴ったご見解、県の県政全般の見直しなど、丁寧に議論をした上で結論を出すことが望ましいと感じます。</p> <p>窓口サービスを廃するのは効率の面からも有効でないように考えます。</p>	公共図書館		非会員	それ以外	
45	<p>普段は横浜市の図書館を利用していますが、調べ物をする時は県立図書館を利用することが多いです。県立には県立の意味があると思います。県の資料を直接見る機会はなくして欲しくありません。</p>	その他		非会員	在住	
46	<p>神奈川県立図書館、特に川崎図書館におけるサービスは素晴らしいものがあると思ひ尊敬していました。老朽化施設にもかかわらず、コツコツと積み上げてきた努力が感じられます。</p> <p>近年ビジネス支援が言われていますが、一般化する前から実践していた川崎図書館のサービスを低下させることなく、存続させていただきたいと考えます。</p>	公共図書館		非会員	それ以外	
47	<p>廃止、縮小 いずれも反対です。図書館は文化、教育の「とりで」です。これ以上の予算削減は絶対に許せません。現場の司書さんが不安定な雇用ながら従事なさり支えている公共図書館も多いと伺います。</p> <p>少子高齢化等で税源が細るのも理解はできますが、裁判所の予算削減がないのと同様、図書館は市民県民の大切な財産です。市町村図書館と県立図書館は役割が明確に異なります。必ず閲覧、貸出、相互貸借は継続すべきです。県民のひとりとして断固、反対致します。</p> <p>黒岩知事の独断でしたら尚更許せません。</p> <p>自治体(市町村)の図書館で働く司書さんが報道で初めて知った事自体が異常です。</p>	その他		非会員	在住	
48	<p>廃止反対です。まとめて見る事が大切。図書館の存在・機能を県に対してアピールすべき。</p>	その他		非会員	それ以外	
49	<p>県立図書館での直接サービス廃止には強く反対する。大量の資料をまとめて見る、いろいろな資料を読みくらべてみる等の利用の仕方は直接サービスでしかできないし、調査研究型図書館の役割は県立図書館でしか担うことができない。</p>	未記入		非会員	在住	

50	貸出しの機能は残すべきだと思います。	その他	NPO法人	非会員	在住	
51	県立図書館にはいつも大変お世話になっています。司書のレベルアップ研修や資料の貸出しなど、市町村図書館のバックアップはなくてはならないものです 廃止なんて とんでもないです	公共図書館		非会員	在住	
52	県立図書館は建築的意味も考慮して是非残してほしいが、近代的な図書館ではない事実も確かなので、改修を含め改革していくことは必要、蔵書の内容、自習室等の充実などで独自の路線を探すべきではないか	その他	芸術関係	非会員	在住	
53	川崎図書館は自然科学の資料が充実しており、地理的にも便利で何度も利用しています。 便利なツールに関する講座(科学論文検索など)は、とても役に立ちました。これからも川崎にあると便利なので利用させていただきたいです。	公共図書館		非会員	それ以外	
54	知識の集まる場所として、勉強したい人が集まる場所として図書館は必要だと思います。 しかし、今の図書館は情報があつまりにくく、影がうすいものになっているかと。 たとえば情報科学関係については10～15年前のものしかなかったイベントで使いたいといっても本が絡まないとダメなどと「昔からのなじみ」の人以外が来づらい場所になっているのは事実かと。 もっと積極的な図書館があればいいと思います。	その他	なし	非会員	在住	
55	公共図書館は、誰もが気軽に利用でき、文化の源になるもので県の大切な文化施設。財源が厳しいということだけで簡単に縮小してはいけません。利用者も少なくない。教育委員会こそ、図書館を守るべき立場。県内の学校教育関係者のおどろきの声が多数あがっている。 書庫化はほとんど無意味、読書推進と逆行するもの。縮小・廃止絶対反対！	学校図書館		非会員	在住	
56	財政のために文化を切り捨てるのは将来のさらなる財政難をまねくものだと思う。 閲覧・貸出は、県民がよりよく暮らすための基本であるので、ぜひ継続してほしい。 また、全国の中でも、類のない特色を持つ図書館は、その機能を何らかの形で残すべきだ。	公共図書館		非会員	在住	
57	おもしろい取り組みだと思います。	その他		非会員	在住	
58	神奈川県は非常に歴史があり、その中で川崎という街は会社や企業、工場が多く、その中で資料を利用されている方も多いと思います。 また今後住みたい街の理由の1つとして“図書館”があるというのはメリットになります。 図書館の廃止により、当面のコスト面は削減されるかもしれませんが、長い目で見て、街としての魅力、吸集力がそこなわれていきます。 神奈川の川崎や企業の歴史を調べるには今後どうすれば良いのでしょうか？ 歴史を残すことは最近の領土問題を見ても、明らかに重要です。100年後、200年後、500年後の後世の人々の為にも歴史、それを閲覧、知ることができる図書館は絶対に必要です！	その他	保存用品メーカー	非会員	それ以外	
59	利便性がいいから、市町村の図書館に貸出・閲覧をまかせればいい、という人は、実際に本を手にとって選ぶ楽しさを知らないかと思います。これだけ専門書を揃えた図書館資料をネット画面だけで、貸出すればいいというものではないと思います。 ぜひあの価値のある蔵書をムダにすることのないよう、再考をお願いしたいです。	公共図書館		非会員	在住	在勤
60	財政面を理由に昨今図書館への風当たりが厳しく、このようなことは図書館のみならず現在の日本の社会全体に及ぶことなのかもしれません コストカット、効率のみならず何が将来に向けた人々の財産となるのか、そういったことと見極めて計画を立ててほしいと思います。	専門図書館		非会員	それ以外	
61	学術的な活動を支援する図書館の縮小は反対します。 削るべき予算はほかにあるのではないのでしょうか。	大学図書館		非会員	それ以外	
62	資料の貸出停止だけでなく、閲覧機能がなくなることは、死蔵になってしまうことであり、神奈川県立図様が所蔵している貴重な資料が使えないということは、研究者等にとっても非常に問題なことです。 再検討していただきたいと思います。	大学図書館		非会員	それ以外	

63	<p>神奈川県立川崎図書館は設立から50年以上を経過し、専門性をもつ唯一の県立図書館として内外で高く評価されてきました。</p> <p>老朽化が著しくなり、建替えの時期となっていますが、これを機会に統合するということであれば、その機能はきわめて制約されることとなりましょう。</p> <p>神奈川県の川崎横浜地区は戦前から日本の技術近代化に多大の貢献をしており、その中心に位置する川崎図書館は周辺企業の技術者にとって頼りになる情報源となっています。</p> <p>各企業は手持ちの古い資料の保存に苦慮し、アーカイブ機能をもつ川崎図書館をデポジトリとして位置づけることにも期待しております。</p> <p>アーカイブへの期待は東北大震災を契機に大きく高まっており、国内唯一の公共科学技術アーカイブとしての役割をもっていることも忘れないください。</p> <p>40年前のことですが、国立国会図書館と日本科学技術情報センターとの統合という騒ぎがありました。</p> <p>民間の技術者が猛反対して取止めとなりましたが、今回も同ような行動を起こすことを期待しています。</p>	その他		非会員	未記入	
64	<p>県立図書館が担ってきた、重要性を再認識して、継続の方向へ</p>	学校図書館		非会員	在住	
65	<p>廃止の理由、図書館の機能への首長の理解が不十分なように今までの報道では感じております。</p> <p>十分な検討と、より一層の図書館機能の充実を願っております。</p>	大学図書館		非会員	それ以外	
66	<p>政策のたたき台としては、どのような案を提示されてもかまいませんが、広く、県民からの意見をつる提示もなく、このような重大な政策が内部で検討されている状況は、不本意です。ヒアリング等は、ないのでしょか。</p> <p>また、大量の本・雑誌を同時に見ることが出来ない閲覧中止は、非常に不便に思います。</p>	公共図書館		非会員	在住	
67	<p>なぜ図書館がなくなってしまうのか？予算がないのが原因ですか？</p> <p>図書館がなくなってしまうと、本を読みたい子供や高齢者など、お金を自由に使えない立場の人や一般の利用者は、他の図書館に行かなければならなくなってしまう。</p> <p>うまくまとめられませんが、図書館は、地球になくてはならないものだと思うので廃止はやめて欲しいです</p>	その他	学生	非会員	在学	
68	<p>特に川崎図書館の社史コレクションは、非常に有用な資料で、海外からも利用させて頂いていますので、今回のニュースには驚きと失望を感じております。</p> <p>存続を切に望みますが、どうしても閉じられる時は、これらの資料の保存と、アクセスを十分に考慮して頂きたいです。</p>	大学図書館		非会員	それ以外	
69	<p>大変おどろきました。</p> <p>図書館の役割について十分に議論できる機会となればよいのですが、一般の人にそれを十分に伝えることが重要となると感じています。</p>	その他	企業	非会員	それ以外	
70	<p>埼玉県在住ですが、当県でも県立図書館の統廃合の話題が出てきています。</p> <p>問題意識は共通するものがありますので、同じように注視していければ、と存じます。</p>	その他	大学	非会員	在勤	
71	<p>機能集約と廃止に関してはなぜという気持ちが強いです。</p> <p>県内の企業、県民にとって、非常に有益な情報を閲覧も貸出しもおこなわないということは県内の経済活動についても大きな影響を与えようと考えます。</p> <p>その場で広く閲覧できてこそその情報資料、神奈川県立川崎図書館の存続を強く願います。</p>	公共図書館		非会員	在住	
72	<p>仮に廃止等を行っても、現在の利用状況を維持・改良し得るとの代案を県民・市民に示しているかといえ、疑問が多い。</p> <p>国会図書館ですら、収集スペースに限界がある状況の中で、これまで蓄積してきたノウハウ、資料を散佚させれば復旧が不可能なことは明らかであろう。</p> <p>神奈川県立川崎図書館、県立図書館を単なる書庫とすることは、県の文化行政能力の欠如を県内外に示すことにもなり、ひいては博物館、美術館への影響も大きく、県のイメージダウンにつながる事が考えられる。</p> <p>県の財政状況を無視することはできず、規模・収集におけるある程度の縮小はやむを得ないが、「維持するか・廃止するか」との二者択一を迫ることは、早計といわざるを得ないであろう。</p> <p>県は県の広報紙以外に各社新聞の地方欄などでも、県民に情報を公開し、県民の意思を取り入れる必要がある。</p> <p>事後承諾のようなことを決して行ってはならない。</p>	その他	大学客員研究員	非会員	在住	
73	<p>知事の意見(県教委)は横暴だと思います。続けて下さい。存続させて下さい。</p>	学校図書館		非会員	在住	
74	<p>図書館で調べものや、読書など、閲覧をしに行くので、閲覧まで禁止までは困ります。</p> <p>国会図書館のように貸し出しがない図書館は有るので、閲覧だけでもなくならないでほしいです。</p>	その他	学生	非会員	それ以外	

75	図書館の役割は資料の閲覧・貸し出しが主なものだと考えています。県立図書館では特に調査のための資料が多く、調査のためには自分で書架から関連のものを探すという行為が必要です。閲覧・貸し出しは必要なものです！！	その他	学生	非会員	それ以外	
76	公共図書館において、閲覧・貸し出しは重要なサービスであるため廃止にはするべきでないと思う。特に県立であれば、資料検索やレファレンス等のサービスが充実しているべきであると感じる。	その他	学生	非会員	それ以外	
77	図書の貸出し、閲覧は、公共図書館として最低限行うべき業務であると思う。蔵書が利用されずに保管されるのは図書館の機能を果たすということにおいてふさわしくないことだと思う。	その他	学生	非会員	それ以外	
78	県立図書館と市町村立図書館の機能・意義を再検討することは、とても有意義だと思う。ただし、市民・県民の満足度を保証することは、必要。	その他		非会員	それ以外	
79	神奈川県立図書館は専門的資料が非常に富んでいて、レファレンスサービス中心のとても豊かな図書館だと思うので、閲覧できなくなるのはもったいなさすぎる。かながわ資料室や調査室だけでも残してほしい	その他	学生	非会員	それ以外	
80	機能集約・廃止を撤回すべきです。	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外	
81	県立図書館の機能集約・廃止に反対です	学校図書館		非会員	在住	在勤
82	事業支援等の地域再生・活性化のための非常にユニークな活動をしている神奈川県立図書館やか川崎図書館の廃止には反対します。また、機能集約等で、県民や市民が利用しにくくなるのは、文化都市としてのレベルを下げてしまいます。むしろ、もっと利用拠点を増やして欲しいところです。	その他		非会員	在住	
83	・とんでもないことだと思います。貸出し・閲覧停止したら図書館でなくなります。・資料費も減っているようです。増額して本を充実してほしい。・両県立図書館とも施設的に古くなっているので移転・新築などしてほしい。・県・県図書館としてマスタープランを示し、県民とも議論する場をもってほしい。	その他	横浜市民	非会員	在住	
84	中小のメーカーなどは、JIS規格などを購入できず、図書館へ来館して、参照などを行っている。また、市立図書館などでは、規格の本は高く購入する事はできず、また所蔵をしていたとしても数年で廃棄してしまう場合も多い。県立川崎図書館を廃止、県立へ統合、閲覧禁止などを行えば、そういった中小企業が工業規格を見るのは困難になる。過去の規格で製作された工作機械の修理する際などに参照するためにも、工学の本を閲覧できる図書館は必要だと思われる。これは、市町村図書館では代替りの役割を果たす事は無理だと思われる。	公共図書館		非会員	在住	在勤
85	知らなかった(失礼しました)。基準を持って資料を集めこれま(で)2館はそれぞれ独自の収書で進めて来たのを、予算一辺倒で見直すというのは、行政の認識が低すぎて(絶句)地元の利用者を集め利用を向上を検討していくのが良いのでは	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外	
86	このようなユニークな図書館が効率化のためなどに廃止されてしまうのはとても残念です。可能ならばぜひ、存続してほしいと思います。神資研ニュースはとても興味深かったのでこれからもぜひ続けてほしいです。	その他	学生	非会員	それ以外	
87	公共図書館の役割は今日拡大方向にあると考えます。財政問題は確かに深刻ですが、機能集約や廃止等については慎重にご検討いただきたく存じます。	その他	教員	非会員	在住	在勤
88	廃止なんてとんでもないことです。	その他	元情報科学技術協会	非会員	在住	
89	図書館は地域に根づいている物だと思うので、文化の一部として維持する(活用する)方向の活動を望みます。専門性の高い図書館であればなおさら地域企業に与えてきた影響も少くないと思いますので。	その他	企業	非会員	それ以外	
90	利用者が本をてにとつて見れず、多くの資料を借りることができなくなるのは図書館としてよくない。また社史コレクション等の価値が低くなるのでは	公共図書館		非会員	在住	
91	地域の歴史資料を保存すること、地域の住民に情報・知識を提供し、人と知識・情報をつなげ、人と人をつなぎ、歴史の中でも人と人をつないでいくことは、その土地の基盤、地盤から人間生活文化を強くし、その地域だけでなく日本の、そして世界の平和的な生活を継続していくことだと信じます。目先のお金の計算だけでこの計り知れない財産の拠点図書館の廃止を論じるのは危険かつあるべきはないと思います。「予算」=priceがあります。図書館=priceless。計り知れない価値を守ってください。	大学図書館		非会員	それ以外	
92	全国的に見ても、県立川崎のコレクション・サービスは個性を持ち、優れています。これを減じてしまう、あるいは廃止する事には大反対です。県立図書館の役割を考えるうえでも貴重な存在です。	その他	設計事務所	非会員	それ以外	

93	<p>廃止反対です。県立図書館の役割は市町村立図書館とは違います。その違いをアピール(市民にも当局にも)する必要があります。</p> <p>蔵書検索しても市町村立図書館にはないものが多くあり、それが直接使えない(間接では使いにくいとあきらめる人がいるはず)のは資料の死蔵になります。</p> <p>県内の図書館のコーディネイター役をしていただくあたって現場を知る人がいないのは困ります。</p>	その他	病院図書館	非会員	在住	在勤
94	<p>県立図書館絶対残してください。廃止しないで！！</p> <p>川崎図書館は資料的価値の高いものが多くありますから。</p>	専門図書館		非会員	在住	
95	<p>東京の国立大学図書館で司書しております。</p> <p>恥ずかしながら、神奈川県立図書館の見直し計画については存じ上げませんでした。今日初めて伺い、大変驚いております。</p> <p>緊急財政対策とはいえ、図書館機能を廃止することはもつてのほかだと思えます。図書館を縮小させてしまったら神奈川県は必ず廃れると思えます。大学でもそうです。</p> <p>図書館を軽視し予算を出さない大学はどんどん衰退していきますし、図書館に力を注いでいる大学はいきいきとして活力があふれどんどん成長・発展していきます。街や自治体でも同じことが言えると思えます。図書館を軽視する自治体はいずれ衰退するでしょう。</p> <p>住民の教育や知る権利をもっと重要視するべきです。</p> <p>特に川崎図書館のような国内有数のユニークな特色のある図書館は絶対に存続させるべきであると思えます。</p>	大学図書館		非会員	それ以外	
96	<p>勤務先が近い為、文献の複写で直接行って利用させてもらっています。</p> <p>今回のニュースには大変驚きました。存続を望んでいます。</p>	その他	病院図書室	非会員	在住	
97	<p>ニュースで見た時は耳を疑うほどびっくりしました。</p> <p>川崎図書館のような良質な専門図書館は、長い年月と資料収集のたゆまぬ努力や関連団体の協力によりできあがった貴重なコレクションを持つ図書館です。神奈川県は外に向かって誇れる財産を廃止するとは、異質な考え方だと思えます。</p> <p>こうしたコレクションを利用者に活用してもらい、後世に遺していくことは、図書館の立場のみならず、現在を生きている私たちの責務ではないでしょうか。</p> <p>2館存続の方向に転換されることを望みます。</p>	企業内資料・情報部門	専門図書館	非会員	在住	在勤
98	<p><u>廃止は絶対反対である</u>。長期的な視野で見ると、廃止による損失が大きいと思う。</p> <p>図書館は生き物でありその活動を止めると死んでしまいます。大事に続けていっていただきたい。</p>	公共図書館		非会員	それ以外	
99	<p>両図書館は独自性のある施設ですので集約・廃止に反対です。</p>	企業内資料・情報部門		非会員	在住	在勤
100	<p>デポジットライブラリーは絶対存続させて下さい。機能集約に反対はしません。県立図書館の蔵書を市町村立図書館に移譲し、県川の専門書籍を現県立図書館で所蔵すれば良いと思えます。</p>	企業内資料・情報部門		非会員	在住	
101	<p>利用者重視で廃止はなるべくさけて削減、集約でコストを見直して継続出来るようにお願いします。</p>	未記入		非会員	在勤	
102	<p>川崎図の立ち退き自体はやむを得ないとしても、一般の直接来館者への閲覧・貸出停止(都道府県図経由サービスに特化)についてはいきすぎたサービス縮小であると思えます。</p> <p>もっと、サービスをここまで縮小しないようなやり方での再編がある筈なのに、現在の案は地元市民のニーズを無視したやり方で、到底看過することはできません。</p>	専門図書館		非会員	それ以外	
103	<p>神奈川県在住のため、県立図、県立川崎図がそれぞれ特色があることは非常に誇りでした。いろいろな図書館紹介本などにもよく載っており、県内在住、在勤者以外でも図書館関係者には有名でした。</p> <p>その意味で今回の検討は非常に不安です。</p> <p>どちらかというと、もっと機能拡大を検討することで県内の企業支援につながる方向を検討した方が、将来の県の収入増につながるのでは？と思えます。こういった提案はできないのでしょうか。</p> <p>多少税金が増えてもいいのですが……</p>	その他		非会員	在住	
104	<p>利用者視点から見れば残念としかいいようがない。</p> <p>サービス提供側の視点からみればどのような要因で今日の決定に到ったのか、そのへんの情報が不足しているので、何ともいえない、予算人員の削減、人口の減少等様々な背景があるのだろうがこれからは利用者側との話しあいの中で、今できる最善の策をめざすことになるのではと思う</p>	専門図書館		非会員	それ以外	
105	<p>誰にでも、どこでもあまねくサービスを無料で提供できるものが図書館であることから、各地に増やすことこそ「是」であるのに、大きな図書館で利用者も多い館を廃止するというのは、ありえないことだと考えます。(利用者がまったくない図書館の機能集約、廃止というなら、仕方ないとも思いますが)</p> <p>行政サービスが素晴らしいだけでなく、芸術・文化に力を入れている神奈川県</p> <p>の考えとも思えません。</p>	その他	専門学校図書館	非会員	それ以外	

106	コストとの兼ね合いで仕方がないと思う。 住民サービス、科学技術研究は別に検討すべきこと。	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外	
107	他県図書館ですが、ビジネス向けなど先進的な取り組みを多く行っていると伺っております。市町村立図書館にはできない機能と活動を今後も是非アピールしていかなければと思います。 公共図書館だけではなく、専門・企業図書館等も頼りにされていると思います。今後も存続されるよう難しいかと思いますが、利用者である企業等とも連携して発言されていければと思います。	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外	
108	企業の図書室としては、有用な資料を、ぜひ開示したほうが良いと思います。	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外	
109	川崎の蔵書を県立図書館へというお話のようですが伝統ある図書館であれば集蔵場所に困るといのが現状かと思えます。 またコレクションもあれば、安易に県立図書館へ移すというのは難しいのではないのでしょうか。(←こちらと新しく作りなおすというなら別ですが) また、立地的問題は川崎だけのように見うけられます。 今回の少しちがうと思えます。 利用者に図書を提供するのが一番大事な図書館の役割です。 その権利がないなら、図書館とはいえないかと思えます コレクションを市立図書館へ、分散ということも考えてよいと思えます。	大学図書館		非会員	それ以外	
110	・廃止は、絶対に反対です。 ・県立への機能集約は、平成29年度の移転がやむをえないのであれば、仕方がないと思えます。 ただし、川崎の資料が全て引き継がれるのか非常に懸念されます。 又、川崎は、神資研の活動をはじめ、デジタライブラリーFAXによる資料の送信、など非常にユニークな活動をされておりました。レファレンスもレベルが高いものでした。 こうした諸活動が、無くなってしまうのは、残念です。	専門図書館		非会員	在住	
111	横浜市在住10年になります。神奈川県民として、今回の検討については、是非推進していただきたい、その際考えていただきたいのは、県として、県民文化について、どうとらえるかですね。 財政が厳しいのは、どこでも一緒です。 他でなんとか工夫して、文化の公共財としての図書館を存続させる方向の意見を見せてもらいたい、そうすれば県民として県にほこりを持つことができるだろう。 県立図書館の無い県に住んでいると思うと、なんとも、情けなくなる。	その他	大学職	非会員	在住	
112	どちらも利用したことがないので、実際のサービスはよくわからないが、「専門図書館化する」と聞いた、以前の発表はどうなったのか。 また、専門書でもブラウジングの必要性は高いと思う。 市町村立図書館から貸出できると聞いたが、単にその資料を提供するだけでなく、司書のスキルを活用して、利用者の要求をうまく汲むサービス提供が必要だと思う。	学校図書館	公共図書館	非会員	それ以外	
113	資料は長年の積み重ねで価値を持ちます。 それを閲覧できることは神奈川県として誇りに思っています。 社史コレクション、科学技術論文、特許検索のノウハウは職員の方々が支えているものです。 高い文化は神奈川県セールスポイントになりうるものです。 ぜひその価値を広くアピールしていただければ幸いです。	公共図書館		非会員	在住	
114	県立川崎図書館を週一回くらい、インターネットとか業界新聞(交通新聞など)閲覧しているのですが、近々、廃館となるとたいへん生活しづらくなるのでもう少し検討して下さい。	その他		非会員	在住	
115	特に川崎図書館は県の行政機関として、全国からも評価される働きをしていたと思います。 目先の行革レベルで、情報へのアクセスを断絶させてはいけません！がんばって！	公共図書館		非会員	それ以外	
116	川崎は残す→川崎市に金をだしてもらおう 横浜は建物保存 相鉄沿線に移動 来館サービスは基本継続 再編議論は歓迎だが現状は拙速と思えます	その他		非会員	未記入	
117	フースで機能集約、廃止の説明を受け、正直「残念」です。 (1)貴(県立川崎)図書館の歴史と先輩たちの実績(科学技術分野での貴重な功績、例えば洗濯機の展示コーナー・「社史コレクション」等)に誇りを持って下さい。日本史の江戸～明治時代～戦後の廃墟の中から『京浜工業地帯(川崎・横浜)』は「物づくり(工業化)・加工貿易」の面で産業発展のメッカ(発祥地)として、非常な貢献してきたとは、地元の図書館の住民(神奈川県人)として自負すると考えます。今回経済面(予算)、利用度等の観点から「廃止?」の声が1部で有りますが…絶望的(諦めないで)にならないでください。	その他	旧企業内資料・情報部門	非会員	在住	横浜市

	<p>(2)今、国内外で急激(速)に他分野で大変化(メガ・パラダイムシフト)の時代→グローバルな「時代変化」の時を再認識し熟慮考察が必要</p> <p>「リーマンショック」や「3.11(東日本大震災)」以降先進国では「物づくり(工業化)社会」～IT(情報化)社会へとトレンド(時流)が変化しつつある。かつての京浜工業地帯も「大量生産のプラント・工場」からメガ・ソーラー(再成可能発電・ソーラー・風力発電)へと姿を変えてきている。→[時代の流れ]。51年間の「第1節(章)」も終り、次の「第2節(次世代)のプラン・ミッション・アクション(組織と活動)」を、新しい若い建設的な他分野の有識者(産・官・学・民+外国人)で領域や縦割主義から越えて、論議・検討～新・図書館創造提案する良いチャンス(ガラガラポン)の時期だと前向き/楽観的に県民(図書館利用者)が受けとめるべきだと思います。→図書館のサバイバル・ガラボス化</p> <p>(提案)図書館単体(本・資料の収集と読書)の時代は終わった。これからのIT(ネットワーク・電子書籍)の図書館 老若男女・職業・専門・興味を持つ優秀なグローバル人材を育成する他の組織・団体(たとえば博物館・学校/研究所・企業・NPO/NGO・スポーツ・芸術・音楽ホール)の有識的連携の融合(コラボ)交流する「知識(知恵・技術・文化―)」の中核に。「図書館」は、それぞれの立場で見直す「破壊と創造」の絶好期です。 (キーワード)・サステナブル(持続可能な社会づくり) ・ダイバーシティー(人間・社会や生物の多様性)・</p>					
118	<p>神奈川県が図書館をどう考えているのか、わかる。無料貸本屋程度にしか図書館を考えてないのでしょうか。しかし、これについては図書館と行政のつながりが、通常の行政のなかではほとんどないため、この意識にはしょうがない部分があるのかなと思います。改めて、図書館が行政に対して存在意義を理解してもらうために何か行動を起こすことが必要なのかなと思います。行政側からのアクションは有り得ないと思うので、図書館側から動かないといけません。</p> <p>自分は神奈川の人間ではないので、あまり言えませんが、今回の件は、利用者にとっては明らかなアク</p>	公共図書館	非会員	それ以外		
119	<p>以前神奈川に住んでいた者として、神奈川には多少なりとも思い入れがある。そのため、公共図書館なのに専門図書館でもあった川崎図書館の存在は神奈川県として誇れるものだと勝手に思っていたため、とても残念極まりない。</p>	未記入	非会員	それ以外	中学まで住んでいた	
120	<p>具体的にサービス内容の変更が利用者の利便性に実効的な面でどう変化するのが重要だと思います。限られた予算であり、その中でどうバランスさせるか、ということが公共の機関であっても重要です。最近出張の際に利用しましたが、老朽化が目立っており、岐路にあるように思います。一概に反対を叫ぶのではなく、理性的運動をすべきではないでしょうか？</p>	企業内資料・情報部門	非会員	それ以外		
121	<p>中長期的な展望の下に今後の政策課題を進めるといっているのであれば神奈川県立図書館や神奈川県立川崎図書館の機能は産業の発展のために絶対に必要ではないかと思えます</p>	企業内資料・情報部門	非会員	在勤		
122	<p>特に川崎は専門図書館的な特色があり、存続を希望します。企業図書館は退職者やOBであっても利用して頂くことが難しいので、技術や社史は川崎へ…とご案内しています。市町村経由の貸出ではますます、一般利用者が減ります。これだけの特色があるので、全国的にPRし、利用促進→地域の経済発展→税金を多くおさめて…につながると良いと思います。</p>	企業内資料・情報部門	非会員	在住	在勤	
123	<p>昨今の情勢から公共サービスに関して効率性を求められる(経費に見合う効果)が多いように感じられる。例えば大阪での文楽協会に対して補助金カット等であるが、公共図書館についても、まず存在の意義を運営者のみならず利用者からの声として行政側に理解されることが肝要。IPS細胞でも話題になったが基礎的な分野(すぐに効果が得られないもの)に費用を投入することは余裕がなければ難しいと考える。川崎図書館についてもここが廃止されると非常に不利益をこうむることをねばり強く主張して欲しい</p>	企業内資料・情報部門	非会員	それ以外		
124	<p>知的な部分まで予算を削るのはいかがなものか？公共図書館の指定管理者制度もそうだが、お金がないからといって、して良いこととそうでない事がある。今後の日本の未来に教育は必要。公なところはふんばりどころでは。</p>	大学図書館	非会員	それ以外		
125	<p>貴重な情報を蓄積されている川崎図書館は廃止すべきではないと思う。</p>	企業内資料・情報部門	非会員	それ以外		
126	<p>原則として貸出しもなければ図書館としての機能などを考えたうえで絶対なくしてはいけません。是非継続を希望します。</p>	公共図書館	非会員	それ以外		
127	<p>廃止は反対です。緊縮財政による機能集約は利用者のためにならないので反対です。</p>	大学図書館	非会員	それ以外		
128	<p>少なくとも貴重な資料を公開もせず所蔵するだけになってしまうのでは意味がない。建築物の耐震性の問題だけならば、補強を考える。廃止するのであれば資料の有効な利用について考慮すべき。実にくだらしない今回の判断だと思っている。</p>	専門図書館	非会員	それ以外		
129	<p>川崎図書館は他に類を見ない所蔵内容なのでぜひ今のままで利用可能にしてほしい</p>	企業内資料・情報部門	非会員	在住	在勤	

130	以前、鶴見区にて在勤していた者です。県立川崎図書館は、社史コレクションや規格資料が充実しており、社内にはないものなど、利用させて頂いておりました。 川崎地区は、企業の研究所施設なども多いことから、廃止されてしまうのは大変残念で、とても不便になりそうです。何とか残るようにして頂けると助ります。	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外
131	この検討が通ると、他の自治体にも影響が出ると思います。心配しています	大学図書館		非会員	それ以外
132	科学技術について何も知らない人間がただ金だけで決めたことで憤りを感じる。資料が分散することの欠点を何も知らない。 あらためて教育委員会はいらないと感じた。	企業内資料・情報部門		非会員	在住
133	恥ずかしいことに今件を今日知りました。今後考えていきたい問題ととらえま	その他		非会員	在住
134	機能存続を望みます	その他		非会員	それ以外
135	直接利用をした事はないが、工業系の図書館を経験した事があり、新しい技術の開発には古いものを振り返り確認する事は必須で、それ(情報)を身近ですぐ確認するには川崎図書館のような資料を開放している場所が必要。 また県立図書館に集約して、今まで通りの運用が出来るとは言い難く、縮小が考えられる事からまた県立図書館が閉架となればさらに人の目に触れない資料が大量に発生、資料の保存・収集のほかに、人に使われる資料を収集している訳であり、検討されている運用方法については安易に同意出来るものではない。帰ってから公開されている	企業内資料・情報部門		非会員	在住
136	私は川崎区に在住しており、よく川崎図書館を利用しております。川崎図書館は市民の方ももちろん、県外の方や外国籍の方などもよく見かけ、大変期待をされている図書館です。専門資料や知識を生かす図書館であり、市民の為、利用者の為にも残して欲しいと思います。	大学図書館		非会員	在住
137	全て個人で対応できるわけではないので、現状を維持する方がよいように思われます。	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外
138	神奈川県立図書館・川崎図書館の活動は特にビジネス支援において全国でも屈指の質と内容であり、そこが縮小されると聞きたときには驚くというより信じられない気持ちでした。 特に川崎図書館の社史コレクションは、公開され自由に利用できる点でも貴重です。科学技術系学術誌のデポジット・ライブラリにしても保管するだけでなく、コピー入手の短縮にしても大変努力してらっしゃると感じており、どのような検討を経て機能集約・廃止という結論が出たのか存じませんが、このような知的インフラと、成果が数字として出ないからといって安易に不要と断	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外
139	統合はしかたないことかも知れませんが、特化した資料収集や閲覧・貸し出しサービスなどは必須なのではないでしょうか。何らかの工夫で是非継続願います。	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外
140	・貴重かつ膨大な資料が十分活用されなくなってしまうのではないかと ・カウンター業務をもたない県立図書館が、市町村立図書館に適切な指導・助言がおこなえるのか、また住民のニーズに合った収書が可能であるのか 特に上記2点について危惧するものです。	公共図書館		非会員	それ以外
141	ニュースを見て驚きました。閲覧・貸出ができない図書館はどのように機能するのか？保管されている資料は貴重なものが多いが今後どのように活用されるのか？(できるのか?)ユニークな資料も多く、また情報発信も熱心にされている機関だと思いますので、運営が継続できることを願っております。	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外
142	二館を統合・効率化するならともかく、閲覧もできなくなるとは問題である。市町村立図書館で借りることができても、紙媒体は直接手に触れ、調べることに意義がある	企業内資料・情報部門		非会員	在住
143	機能について、市立と県立で分けることは必要だと思います。見直すうえで停止されるサービスもあるでしょう。ただ、今の提案、とくに川崎図書館の廃止は、「機能集約」とは言えないと思います。単なるその場でのお金の削減は、のちのち文化や企業活動に支障を与え、更なるお金の削減を生むだけと危惧します。	大学図書館		非会員	在住
144	この議論、つきつめると国会図書館がひとつあると、あとは端末だけあればいいという話であろうかと。 それぞれの端末にどのような特色を持たせるのか、すでに持っている特色とどう折り合いをつけるのか、なかなか難しい問題だと思います。デジタル空間で全ての図書を共有できるようになるとなお難しいですね。	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外
145	今回のニュースを知り、ショックを受けました。公共図書館では全国で一番有名な図書館ではないでしょうか。知名度だけではなく、図書館展、文献など広く活躍をされているのに廃止されるとは、おかしいのではないかと。	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外
146	川崎libの存続を希望します。理由として、コレクションのユニーク性を挙げます。ただ、県内企業(特に中小)の学術情報環境支援(EJ、電子ブック、DB等)として、コンソーシアムや契約取りまとめ等、存在意義を発揮出来る取り組みについても考えて頂きたいと考えます。	その他	出版社	非会員	在住

147	驚いており、どうなるのか案じていました。社史を担当しており、今まで数多く利用しています。同業の社史担当者の中でも話題にのぼっています。どこかに移管、企業などとのタイアップ、PFIなどいろいろ考えられる手法はあはずです。ぜひ、今までどおり利用できるようにしてほしい。	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外	
148	これまでの歴史のつみかさね等を考え慎重に検討すべきだと思います。	大学図書館		非会員	それ以外	
149	様々なイベントを企画して市民に興味を持ってもらうなど取り組んでいってほしい。	その他	サポート	非会員	在住	
150	貴重な資料が死蔵されるのは残念。なんとか利用継続できればと思います。	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外	
151	神奈川県は、そもそも図書館が少なく、文化的に遅れていると思います。今後、増してゆく方向であるはずなのに、県立図書館を廃止するなどありえないと思います。	企業内資料・情報部門		非会員	在住	
152	たとえ県立図書館に、川崎図書館の蔵書が保管されても、自由に閲覧、貸出しができないことは図書館の役割を果たすとはいえないのではないでしょう	公共図書館		非会員	それ以外	
153	今、ここでこのようなことは初めて知った。利用状況あるいは県の財政状況等課題不明なので何とも言えない。	専門図書館		非会員	それ以外	
154	貴重な資料が死蔵になるのは大変もったいないと思います。機能集約と廃止には、反対です。	企業内資料・情報部門		非会員	在住	在勤
155	図書館の縮小、廃止には国民市民の知的向上機会の縮小、喪失に当たると思っています。国民市民には知的向上機会を与えられる権利があるのではと、思っています。	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外	
156	科学・技術に特化した貴重な図書館と思われます。どのような事情が分かりませんが残念です。市立川崎高校の卒業なので、在学中は毎日川崎図書館の前を通って通学していました。なつかしく思い出されます。存続に向けて、がんばってほしいと思います。	大学図書館		非会員	在住	在勤
157	都道府県立の図書館の存在について、行政・住民への説目が難しいのは理解できる。だが、だからといっていきなり貸出さらに閲覧までやめてしまうというのはたいへん乱暴な話だ。これまで蓄積された資料群が死んでしまう、職員のパウハウも失われてしまう。目先の利益で将来に禍根を残さないよう、県民の意見もよく聞いてより良い県立図書館にしてほしい	公共図書館		非会員	在住	
158	決まったかのように報道がされているが、これから、議論がはじまると感じている。神奈川県だけでなく、県と市(県庁所在地)の図書館について、同一のプラットフォームで、話し合いができればありがたい。	公共図書館		非会員	それ以外	
159	市民の知識・情報へのアクセスとしての公共図書館の地域住民への情報の提供。特に神奈川県の場合は、各図書館の専門性に特化した収集をしている図書館を廃止することは、研究、教育に大きな影響を与えるのではないのでしょうか。パソコン、インターネットの普及している時代とは言え、実物書物を手にして、研究、知識を得ることは、大切なことだと思います。最近特にEJ、インターネットに傾むきすぎている感があります。パソコンがすべてではありません。大切な地域住民、県民には、パソコンがすべて扱える人達ばかりではありません。	企業内資料・情報部門	専門図書館	非会員	在住	在勤
160	現場の意見をもう少しとり入れて、決定からの検討ではなく、決めていってもらえる形をとってゆくことが、必要だったと思います。又、実際に利用している利用者の声を聞いて検討していってもらわなければ、何のための図書館だか分からないと思います。でも図書館員としてはやはり継続して行って欲しいと思います。	専門図書館		非会員	在住	在勤
161	教育に金をかけない国は、亡びます。	未記入		非会員	それ以外	
162	貴重なコレクションを利用しやすい形で残してほしいと思う。	その他	企業	非会員	それ以外	
163	・ポイントは、対象図書館が県民ニーズに対応した機能の変革に努めて来たかであり、(ネット対応等)幅広く県民に活用されて来ているかと思う。 ・新しい試みを行う努力をして来たか問われる。 来るヒトのための図書館の発想では、財政難を乗り越えることは難しいと思います。	その他	企業・企画部門	非会員	それ以外	
164	公共図書館の役割は、資料の収集、保管ではなく、有用な資料をいかに活用しやすいものにするかだと思います。機能集約が避けられないのであれば、利用できる状態を保つ事を同時に検討すべきであり、一方向での結論は出すべきではないと考えます。	その他	企業	非会員	それ以外	
165	過去からの知の蓄積を現代に残し、未来を繋げる事 また、道を決める出会いにもなる事、など、その様な点からも貴重な蔵書を活かせる場を、もっと広げるべきだと考える。	企業内資料・情報部門		非会員	それ以外	

166	神奈川県は県立図書館だけではなく、県立高校の図書館・施設もたいへん貧弱であり、教育にお金をかけることを惜しんでいるように思える。子供たちだけでなく、県民の知への欲求をさまたげるような方針には少なからぬ税金を払っている県民としては納得できない。県への収入・支出ももちろん見直してほしいし、県職員の数・給料→仕事と給料がふさわしいですか？は特にこのような不況の時代に見あっているかどうか十分検討してほしい。	専門図書館		非会員	在住
167	工科系大学として期待しているところもあるので今までの川崎図の機能をもった図を継続・維持することを期待したい。物理的建物の廃止は財政的な面で仕方ないのかもしれないが、できるだけ廃止しない方向で	大学図書館		非会員	それ以外
168	小生は子供といっしょに、よく区立図書館を利用します。県立図書館は、県の情報が集約された機関だと思います非常に残念だし、神奈川県の方針に疑問があります	その他		非会員	それ以外
169	蓄積されてきた資料、ノウハウ、文化は未来への大切な財産です。目先の効率化にとられて放棄するなどとてもないことです。	専門図書館		非会員	それ以外

No.	自由意見	所属		会員/会員外	在住・在勤	
1	このような(日本唯一といえる)ビジネスライブラリがなくなったら、神奈川県のみならず日本の産業にとって大きな痛手です。	その他	大学	未記入	在住	
2	1.図書館の効果を評価しないで、金銭のみの合理化はナンセンスである。 2.例えば学校の場合を考えると、教育の効果は評価させている筈である。 3.効果を評価しない費用の合理化を追求するならば、県庁の業務の殆んどがムダであろう。 4.効果を評価できない職員ならば無用だから、再教育(いはばシゴキ)か或いはクビである。 5.以上総合すると黒岩知事が無能で、「その職務に触れず」と云うことである。	その他	技術コンサル	未記入	在住	県川崎をよく利用している。
3	神奈川県立図書館ネットワークは全国でも、有名で、市町村全体に欠かせないものです。1館にまとまることになっても、存続されればと願っています。	公共図書館		未記入	在勤	
4	川崎図書館は、ビジネス支援図書館として、又企業の社史の宝庫として有名であり、ぜひ単独で残して欲しい。	未記入		未記入	それ以外	
5	報道にびっくりしました。図書館の存続を続けられたらと思います。閲覧も廃止というのは、本当にきびしいです。神資研の拠点でもあるので是非残してほしいと思います。	専門図書館		未記入	在住	在勤
6	一神奈川県民として今回のやり方には強い不安を感じます。予算を減らし、蔵書の内容が魅力を失っていたのは確かですが、廃止の方向にむかうのは行き過ぎです。県立図書館しか出来ない仕事がある筈です。	専門図書館		未記入	在住	在勤
7	特許関係文献や古い製品等の情報入手に活用させてもらっており、特に知財係争の際等、短期間で入手ができるので大変助かっています。廃止されると非常に困ります。	その他	知的財産部門	未記入	在住	在勤
8	川崎という地は、企業も多く、科学技術とのつながりがとても深いです。日本の科学技術の記録、サポートとしても、是非とも存続していただきたいです。よろしくお願い致します。	企業内資料・情報部門		未記入	在住	在勤
9	神奈川県立図書館(横浜市)について 閲覧・貸出機能の停止によって、軽減するコストと、それを補うための相互貸借システムの強化に掛かるコストの概数が知りたい。財政状況の改善のためにはこの方策が最適なものか、或いは他により抜本的な方策が存在するのか、既にあれば検討内容も知りたい。 神奈川県立川崎図書館について 廃止後の蔵書の移動先として、県立図書館(横浜市)がその収蔵能力の点で適切であるかどうか知りたい。また、川崎図書館の蔵書は、学術雑誌、特許類等、来館利用を基本とし、相互貸借での利用に全くなじまないものが大部	大学図書館		未記入	在勤	
10	図書館がなくなると調べ物に不便になります。	未記入		未記入	未記入	
11	横浜と川崎は場所も近いので集約してもよいとは思いますが、サービス低下は避けてほしいです。	公共図書館		未記入	それ以外	
12	県立の川崎図書館は科学分野に特化しており、非常に有用。現物の雑誌、図書を手にとって、調べられるのは、科学者には必要。存続を強く希望します。	未記入		未記入	在住	
13	社史や学協会誌、特許・規格などを蔵書し、通常の図書館と異なる全国でもユニークな図書館ですので存続を希望致します。	企業内資料・情報部門		未記入	在勤	
14	ありえないことです！ 県立図書館には知の文化の中心地として地域の人たちに多く支持されています。他の地方や、いろいろな方面への影響を考えると、事は慎重であって欲しいです。 文化を大切にしてください、と行政の方をお願いしたい！ 2つの県立図書館は宝です。	未記入		未記入	未記入	
15	県立図書館以外の図書館では果たせない機能があると思います。県立図書館として今まで以上の図書館運営を切に希望しています。	公共図書館		未記入	在住	

16	非常に残念に思います	専門図書館		未記入	それ以外	
17	川崎図書館は紅葉坂と違って、独自に技術分野での普及活動(啓蒙)しているので、統合されると、自由な活動が、できなくなるのではないかと危惧する。 川崎図書館のユニークな活動は全国でもほこれるものなので、場所を変えても(統合ではなく)是非存続させて欲しい。	未記入		未記入	未記入	
18	神奈川県に公共図書館は不要と言っているのも同然で、行政の見識を疑う。	公共図書館		未記入	在住	
19	従来の県立図書館機能を更に拡充してほしいと思います。(保存図書館として徹底してほしい。) 他県図書館と比較して住民として恥ずかしい思いをしています。	未記入		未記入	未記入	
20	川崎図書館では社史資料を収集している。こういった専門特化したことは市町村レベルではなかなかできない。社史資料等を研究している市民の方にとって閲覧できることは大きなメリットだと思う。こういった点で、これからも県立図書館には貸出・閲覧サービスを続けていてもらいたいし、期待している。	未記入		未記入	未記入	
21	なんでなくなってしまうのか？ 横浜中央とひと味ちがう資料の貸借をそのままぜひ残して	その他	会社員	未記入	在住	
22	製造業の研究所の図書室担当者として、技術文献や特許資料を所蔵している川崎図書館の廃館は不都合である。 借地の問題はありますが、再開発の目玉として図書館を捉える等川崎市と交渉の余地はないのだろうか？ 最低、川崎から撤退し横浜と統合するとしても、閲覧・貸出をせず市町村図書館経由となれば著しく利便性を欠くことになる。 また、両館合わせて40万人以上(文献複写依頼を併せればそれ以上)の対応を市町村図書館が肩代わりすることになり市町村の負担が大きくなってしまう。 つまり、県の財政問題を市町村に押し付けているだけだと考え	企業内資料・情報部門		未記入	在住	在勤
23	廃止に反対です。文化のとりでである図書館の有用性についてアピールすることが大切なのかと思いました。県立図書館を直接利用する機会を失くしてはいけないと思うし、数々の活動も失くしてはいけないと思います。県立特に川崎は他県にないものをもっています。それをもってアピールしましょう。	未記入		未記入	未記入	
24	現状維持を希望します。 県立図書館、川崎図書館はそれぞれの機能を持っています。 川崎図書館は同じ規模の土地を近くに探してそのまま運営を。 こういう時代にごそ県立個人への貸出は(職業・資格等の勉強・就労支援)絶対必要です。 県内の公共図への宅配も今現在の形の継続をお願いします。(県職員の対応は県内の情報を知るために必要です)	公共図書館		未記入	未記入	
25	財政上の問題など、いろいろあるとは思いますが、県民、市民が気軽に本を楽しむいい空間だと思いますので、機能集約、廃止等はもう一度考え直していただきたいと思います。 本を読むことが、少なくなりつつある今日、図書館は大切に守っていただきたいと思います。	未記入		未記入	未記入	
26	県立図書館が一般利用できなくなるのが事実とすれば由々しき事態である。市町村立図が使えればよいというものではなく、利用者により様々な使い方、使いわけがあるはず。 単純には行かない問題も多々あると思う。 県においては、慎重な対応をとっていただきたい。	大学図書館		未記入	未記入	
27	今まで文献複写等で大変お世話になってきたので、今後このようなサービスが受けられなくなると大変困る。また、あれだけの貴重な資料が今後どうなってしまうのかと思うと大変心配だ。 複写や貸出等で企業側としても気軽に活用させていただき、研究にも大変役立ってきた。 それが来館しないと貸出してもらえなかったり、今までのように複写対応していただけなくなった場合、神奈川県内の企業にも大変大きなダメージがあると思う。 神奈川県の方々の今後のことを本当に考えているならば、今まで通り資料を気軽にかがわ県民センターで県立図書館蔵書を借出・返却ができたのは非常に便利であった。対応も迅速であり、大変有用。	専門図書館		未記入	在住	
28	神奈川県の方々の今後のことを本当に考えているならば、今まで通り資料を気軽にかがわ県民センターで県立図書館蔵書を借出・返却ができたのは非常に便利であった。対応も迅速であり、大変有用。	未記入		未記入	未記入	